

平成26年3月14日

那須烏山市議会議長 佐藤 雄次郎 様

経済建設常任委員会委員長 久保居 光一郎

### 所管事務調査結果報告書

平成24年第3回5月臨時会において本委員会が申し出を行った閉会中の継続調査の結果について、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により、次のとおり報告します。

#### 1 調査期間

平成24年5月9日から平成26年3月14日

#### 2 構成委員

久保居光一郎、渋井由放、渡辺健寿、平山進、佐藤雄次郎、小森幸雄

#### 3 調査事項

- (1) 産業振興対策に関する事項
- (2) 建設環境対策に関する事項
- (3) その他所管に関する事項

#### 4 調査結果

- (1) 平成24年11月12日に、エコライフの普及啓発に取り組んでいる山梨県都留市を訪問した。都留市役所庁舎前を流れる家中川に発電力20キロワットを有する木製水車を新エネルギー・産業技術総合開発機構の新技术の導入事業として全国に先駆けて実施したことや、エコライフ推進のために「アクアバレーつる」構想の策定や豊かな環境を守り育て後世に継承し、健康的で環境の持続性を大切にする市民ライフスタイル確立と地域産業の振興に繋げるという考え方は、活力ある市の行政運営に役立っていると感じ大変参考になった。
- (2) 平成24年11月13日に訪問した山梨県北杜市では、NEDO委託事業として国家プロジェクトである大規模電力供給用発電系統安定化等実証研究施設の「北杜サイト太陽光発電所」と「村山六ヶ所堰水力発電所」を視察した。  
「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」を市の理念としている北杜市では大規模太陽光発電所の普及拡大に繋げることを目的とした「北杜サイト太陽光発電所」と、持続可能な低炭素社会の構築に向けた取り組みとして運転している「村山六ヶ所堰水力発電所」は、エネルギーの地産地消を実践しており、本市においても低炭素社会実現のために今何をしなければならないのか、議会と市執行部の間で真剣に議論しなくてはならないと感じた。
- (3) 平成25年5月22日は、同年4月の中下旬の降霜で大きな被害を受けた圃場の被害状況を確認するために、福岡地内と塩那台地内の梨圃場、興野地内のりんご圃場、上境地内のぶどう圃場を調査した。その後、南那須庁舎に戻り、

農政課より農作物の種類別被害状況報告の詳細説明を受けた。

これを受けて委員会は、5月28日に開催された議員全員協議会において、支援制度を充実し、被害農家の負担を少しでも軽減してもらいたいと市長にお願いをした。

- (4) 平成25年11月29日には、4月中下旬の降霜被害農家への支援策や現況についても把握すべきとの観点から、福岡地内の梨圃場を調査した。その後、南那須庁舎に戻り農政課から説明を受け、今年の春の開花時期まで、注視して適切な対応を図られたいと意見を述べた。

また、この日の午後は、茨城県笠間市の笠間クラインガルテンを視察研修した。1区画が300平方メートルの土地に宿泊施設付き市民農園が50区画あり、利用者は、市外はもとより県外の人が多く、利用者間及び都市住民との交流も盛んで年間を通して様々なイベント等が展開されており、本市の農地活用や都市間交流についても参考になる有意な視察研修で大変参考になった。